

# 令和3年度富山県歳入歳出決算要旨

令和4年8月10日

出 納 局

# 令和3年度富山県歳入歳出決算の概要について

## 1 決算規模

(単位：百万円・%)

区 分		令和3年度 決算額 A	令和2年度 決算額 B	増減額 (A-B) C	増減率 C/B
一般会計	歳入	682,962	653,240	29,722	4.5
	歳出	659,900	633,416	26,483	4.2
特別会計	歳入	261,408	261,355	53	0.0
	歳出	243,719	243,968	△ 250	△ 0.1
計	歳入	944,369	914,595	29,774	3.3
	歳出	903,618	877,384	26,235	3.0

(注) 表中の数値は、それぞれ原数値を四捨五入しているため、計数が一致しない場合がある。以下、各表同じ。

令和3年度の一般会計及び特別会計を合算した決算額は、

歳入 9,443億69百万円 (前年度 9,145億95百万円)

歳出 9,036億18百万円 (前年度 8,773億84百万円)

となっており、これを前年度と比べると、歳入では 297億74百万円、3.3%の増加、歳出では 262億35百万円、3.0%の増加となっています。

## 決算規模の推移

(単位：百万円・%)

区 分	決 算 額					対 前 年 度 増 減 率					
	平29	平30	令元	令2	令3	平29	平30	令元	令2	令3	
歳入	一般会計	521,988	524,019	529,915	653,240	682,962	△ 2.6	0.4	1.1	23.3	4.5
	特別会計	194,753	314,095	309,338	261,355	261,408	7.8	61.3	△ 1.5	△ 15.5	0.0
	<b>合 計</b>	<b>716,740</b>	<b>838,114</b>	<b>839,252</b>	<b>914,595</b>	<b>944,369</b>	<b>0.0</b>	<b>16.9</b>	<b>0.1</b>	<b>9.0</b>	<b>3.3</b>
歳出	一般会計	506,004	509,319	516,923	633,416	659,900	△ 2.6	0.7	1.5	22.5	4.2
	特別会計	180,649	299,171	293,816	243,968	243,719	7.1	65.6	△ 1.8	△ 17.0	△ 0.1
	<b>合 計</b>	<b>686,653</b>	<b>808,489</b>	<b>810,739</b>	<b>877,384</b>	<b>903,618</b>	<b>△ 0.2</b>	<b>17.7</b>	<b>0.3</b>	<b>8.2</b>	<b>3.0</b>

## 2 一般会計歳入歳出決算

### (1) 決算収支

(単位：百万円・%)

区 分		令和3年度 A	令和2年度 B	増減額 (A-B) C	増減率 C/B
1. 歳入総額		682,962	653,240	29,722	4.5
2. 歳出総額		659,900	633,416	26,483	4.2
3. 歳入歳出差引額(形式収支) a		23,062	19,824	3,238	16.3
4. 翌年度へ 繰り越す べき財源	継続費	582	236	346	146.7
	繰越明許費	20,686	18,103	2,583	14.3
	事故繰越	1,113	835	278	33.3
	計 b	22,381	19,174	3,207	16.7
5. 実質収支額(a-b)		681	650	31	4.8

一般会計の決算額については、

歳入は6,829億62百万円で、297億22百万円、4.5%の増加となり、

歳出は6,599億円で、264億83百万円、4.2%の増加となっています。

形式収支は230億62百万円で、形式収支から繰越事業にあてる財源として翌年度へ繰り越すべき額223億81百万円を控除した実質収支は、6億81百万円の黒字となっています。

#### ※ 令和3年度一般会計決算のポイント

○歳入は、県税や地方交付税が増加したことなどにより、前年度に引き続き増加した。

○歳出は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策や、県民生活・県内経済の安定・維持、アフターコロナ・ビヨンドコロナを見据えた経済活動の活性化等に取り組むとともに、後年度への備えとして、県債管理基金への積み立てを大幅に増やしたこともあり、前年度に引き続き増加した。

○県債残高は、償還額が発行額を上回ったため、2年ぶりに減少に転じた。

(令和2年度末：1兆2,010億円 → 令和3年度末：1兆1,942億円(△68億円))

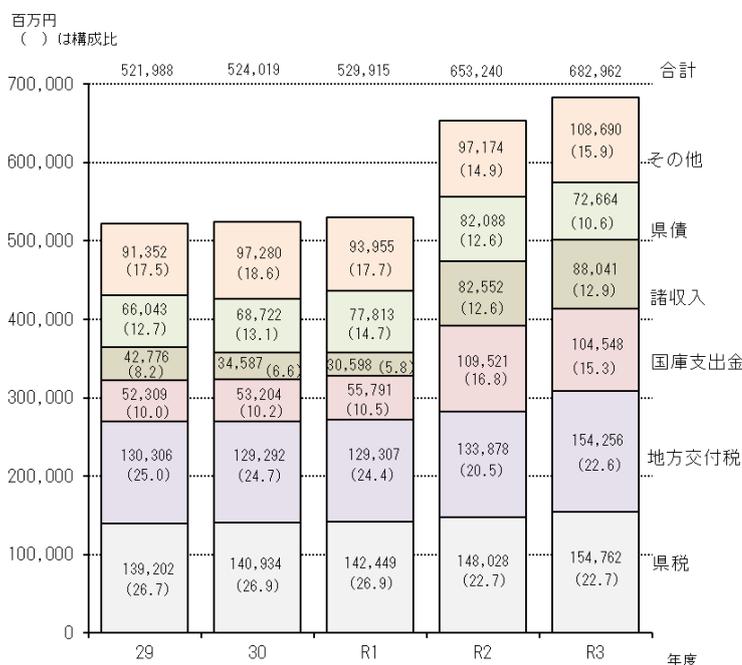
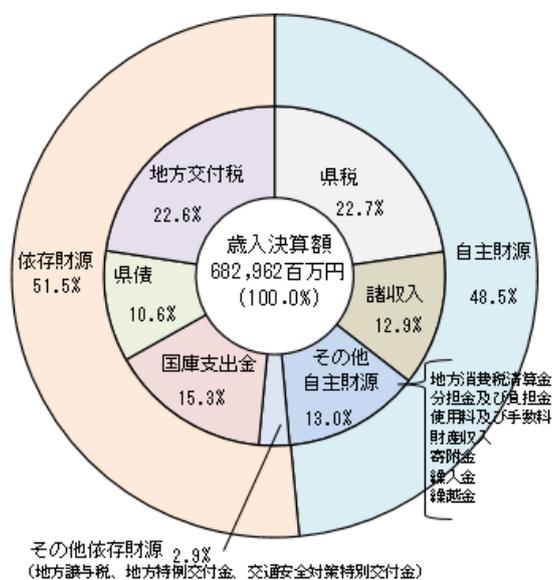
○実質収支は、6億81百万円となり、前年度(6億50百万円)より31百万円増加した。

## (2) 歳入の状況

(単位：百万円・%)

区 分		令和3年度決算額 A		令和2年度決算額 B		増減額 C (A-B)	増減率 C/B (%)
			構成比 (%)		構成比 (%)		
自主財源	県 税	154,762	22.7	148,028	22.7	6,735	4.5
	諸 収 入	88,041	12.9	82,552	12.6	5,489	6.6
	地方消費税清算金	52,446	7.7	48,268	7.4	4,178	8.7
	使用料及び手数料	9,339	1.4	9,251	1.4	88	1.0
	そ の 他	26,971	3.9	21,393	3.3	5,578	26.1
	小 計	331,560	48.5	309,491	47.4	22,069	7.1
依存財源	地方交付税	154,256	22.6	133,878	20.5	20,378	15.2
	国庫支出金	104,548	15.3	109,521	16.8	△ 4,973	△ 4.5
	県 債	72,664	10.6	82,088	12.6	△ 9,423	△ 11.5
	(臨時財政対策債)	(23,893)	(3.5)	(19,490)	(3.0)	(4,402)	(22.6)
	(上記を除く県債)	(48,772)	(7.1)	(62,597)	(9.6)	(△13,826)	(△22.1)
	地方譲与税等	19,933	2.9	18,262	2.8	1,671	9.2
小 計	351,401	51.5	343,749	52.6	7,653	2.2	
合 計		682,962	100.0	653,240	100.0	29,722	4.5

### 一般会計歳入決算額の構成



## <主な款別決算の特徴>

### ア 県 税

県税の決算額は、1,547億62百万円で、前年度(1,480億28百万円)と比べると、67億35百万円、4.5%の増加となっています。これは、企業収益の回復による法人事業税の増加や、令和元年10月の税率引上げや輸入額の増加により地方消費税が増加したことなどによるものです。

### イ 地方消費税清算金

地方消費税清算金の決算額は、524億46百万円で、前年度(482億68百万円)と比べると、41億78百万円、8.7%の増加となっています。

これは、令和元年10月の税率引上げなどによるものです。

### ウ 地方譲与税

地方譲与税の決算額は、189億72百万円で、前年度(172億54百万円)と比べると、17億18百万円、10.0%の増加となっています。これは新型コロナウイルス感染症の影響を受けた企業の業績改善により、特別法人事業税(国税)の増収に伴い増加したことなどによるものです。

### エ 地方交付税

地方交付税の決算額は、1,542億56百万円で、前年度(1,338億78百万円)と比べると、203億78百万円、15.2%の増加となっています。これは、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う企業業績の悪化により県税収入が減少すると見込まれていたこと、国の追加経済対策等に伴う国補正予算において普通交付税の追加交付があったことなどによるものです。

### オ 国庫支出金

国庫支出金の決算額は、1,045億48百万円で、前年度(1,095億21百万円)と比べると、49億73百万円、4.5%の減少となっています。これは、新型コロナウイルス感染症対策や公共事業のための交付金の減少などによるものです。

### カ 県 債

県債の決算額は、726億64百万円で、前年度(820億88百万円)と比べると、94億23百万円、11.5%の減少となっています。これは、県税収入の増加などにより、減収補填債などの起債が減少したことによるものです。

また、県債残高は、償還額が発行額を上回ったため、2年ぶりに減少に転じました。  
(令和2年度末：1兆2,010億円 → 令和3年度末：1兆1,942億円(△68億円))

### キ その他

使用料及び手数料の決算額は、93億39百万円で、前年度(92億51百万円)と比べると、88百万円、1.0%の増加となっています。

諸収入の決算額は、880億41百万円で、中小企業基盤整備機構からの中小企業制度融資にかかる利子補給補助金や昨年度から繰り越した国庫補助金の過年度収入の増加などにより、前年度(825億52百万円)と比べると、54億89百万円、6.6%の増加となっています。

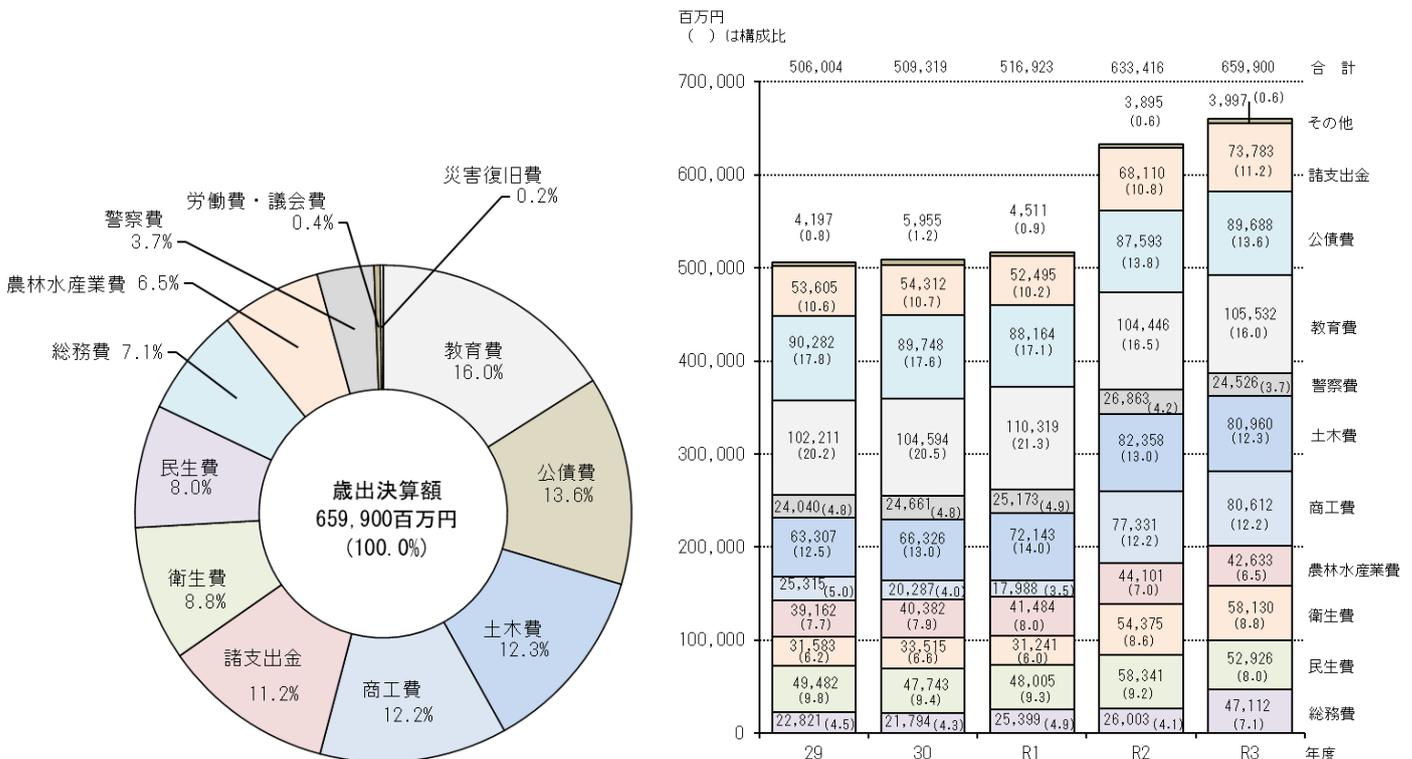
自主財源の割合は前年度(47.4%)と比べると1.1ポイント高い48.5%となっています。

### (3) 歳出の状況

(単位：百万円・%)

区 分	令和3年度決算額 A		令和2年度決算額 B		増減額 C (A-B)	増減率 C/B (%)
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)		
議 会 費	960	0.1	983	0.2	△ 23	△ 2.3
総 務 費	47,112	7.1	26,003	4.1	21,109	81.2
民 生 費	52,926	8.0	58,341	9.2	△ 5,415	△ 9.3
衛 生 費	58,130	8.8	54,375	8.6	3,754	6.9
労 働 費	1,848	0.3	1,791	0.3	57	3.2
農 林 水 産 業 費	42,633	6.5	44,101	7.0	△ 1,468	△ 3.3
商 工 費	80,612	12.2	77,331	12.2	3,282	4.2
土 木 費	80,960	12.3	82,358	13.0	△ 1,398	△ 1.7
警 察 費	24,526	3.7	26,863	4.2	△ 2,337	△ 8.7
教 育 費	105,532	16.0	104,446	16.5	1,086	1.0
災 害 復 旧 費	1,189	0.2	1,121	0.2	68	6.0
公 債 費	89,688	13.6	87,593	13.8	2,095	2.4
諸 支 出 金	73,783	11.2	68,110	10.8	5,673	8.3
合 計	659,900	100.0	633,416	100.0	26,483	4.2

### 一般会計歳出決算額の構成



## <主な款別決算の特徴>

### ア 総務費

総務費の決算額は、471億12百万円で、前年度(260億3百万円)と比べると、211億9百万円、81.2%の増加となっています。これは、税込、地方交付税等の歳入が増加したことを受け、後年度への備えとして県債管理基金への積み立てを増加させたことなどによるものです。

### イ 民生費

民生費の決算額は、529億26百万円で、前年度(583億41百万円)と比べると、54億15百万円、9.3%の減少となっています。これは、高岡児童相談所移転改築等工事費が増加した一方で、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業の介護従事者、障害福祉従事者への慰労金交付等の終了により事業費が減少したことなどによるものです。

### ウ 衛生費

衛生費の決算額は、581億30百万円で、前年度(543億75百万円)と比べると、37億54百万円、6.9%の増加となっています。これは、医療従事者への慰労金交付の終了による減少の一方で、新型コロナウイルス感染症患者等の病床確保や新型コロナウイルスワクチン接種、営業時間の短縮要請に応じた飲食店等に対する協力金の支給に伴う事業費が増加したことなどによるものです。

### エ 労働費

労働費の決算額は、18億48百万円で、前年度(17億91百万円)と比べると、57百万円、3.2%の増加となっています。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、雇用の維持のための事業費が増加したことなどによるものです。

### オ 農林水産業費

農林水産業費の決算額は、426億33百万円で、前年度(441億1百万円)と比べると、14億68百万円、3.3%の減少となっています。これは、ため池等の農業水利施設の防災・減災対策を行う農村地域防災減災事業費が増加した一方、農地の大区画化や汎用化などを行う県営農地整備事業費等が減少したことなどによるものです。

### カ 商工費

商工費の決算額は、806億12百万円で、前年度(773億31百万円)と比べると、32億82百万円、4.2%の増加となっています。これは、新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金や事業持続化・地域再生支援金が終了したものの、消費喚起に取り組む商工団体や商店街等への支援事業費や県民向けのキャンペーンの実施など観光振興及び観光事業者支援にかかる事業費が増加したことなどによるものです。

## キ 土 木 費

土木費の決算額は、809億60百万円で、前年度（823億58百万円）と比べると、13億98百万円、1.7%の減少となっています。これは、河川海岸費や港湾費が減少したことなどによるものです。

## ク 警 察 費

警察費の決算額は、245億26百万円で、前年度（268億63百万円）と比べると、23億37百万円、8.7%の減少となっています。これは、富山南警察署の建設工事終了に伴い、事業費が減少したことなどによるものです。

## ケ 教 育 費

教育費の決算額は、1,055億32百万円で、前年度（1,044億46百万円）と比べると、10億86百万円、1.0%の増加となっています。これは、給与費が減少した一方で、学校のICT化やオンライン授業を実施するための環境整備費や県立大学DX教育研究センター整備費等が増加したことなどによるものです。

## コ 諸 支 出 金

諸支出金の決算額は、737億83百万円で、前年度（681億10百万円）と比べると、56億73百万円、8.3%の増加となっています。これは、令和元年10月の税率引上げに伴う地方消費税清算金や地方消費税市町村交付金、交付率引上げによる法人事業税市町村交付金の支出が増加したことなどによるものです。

## 3 特別会計歳入歳出決算

(単位：百万円・%)

区 分	令和3年度決算額 A	令和2年度決算額 B	増減額 (A - B) C	増減率 C / B
歳 入	261,408	261,355	53	0.0
歳 出	243,719	243,968	△ 250	△ 0.1
歳入歳出差引額	17,689	17,387	302	1.7

特別会計の決算額については、前年度と比べると、

歳入は2,614億08百万円で、53百万円、0.02%の増加となり、

歳出は2,437億19百万円で、2億50百万円、0.1%の減少となっています。

歳入歳出差引額は、176億89百万円で、この歳入歳出差引額は、会計ごとに、令和4年度へ繰り越しました。

### <主な特別会計の決算の特徴>

#### ア 公債管理特別会計

前年度と比べると、償還元金が減少したことなどにより、歳入・歳出ともに、45億74百万円、2.9%の減少となっています。

イ 収入証紙特別会計

収入証紙特別会計は、前年度と比べると、歳入は運転免許等手数料や薬事等許可手数料の増加などにより、80百万円、2.9%の増加、歳出は93百万円、3.6%の増加となっています。

ウ 国民健康保険特別会計

前年度と比べると、歳入は前期高齢者交付金、繰越金の増加などにより、40億45百万円、4.7%の増加、歳出は保険給付費等交付金の増加などにより40億32百万円、5.0%の増加となっています。

特別会計決算収支額

(単位：百万円・%)

会 計 名	3年度 予算現額	歳 入				歳 出				歳入歳出 差引額 A-D
		3年度 決算額 A	2年度 決算額 B	増減額 (A-B) C	増減率 C/B	3年度 決算額 D	2年度 決算額 E	増減額 (D-E) F	増減率 F/E	
1 物品調達等管理特別会計	875	854	813	40	5.0	673	653	19	3.0	181
2 公債管理特別会計	152,749	152,602	157,176	△ 4,574	△ 2.9	152,602	157,176	△ 4,574	△ 2.9	0
3 収入証紙特別会計	2,934	2,827	2,747	80	2.9	2,703	2,611	93	3.6	124
4 母子父子寡婦福祉資金特別会計	120	133	95	38	40.3	85	69	16	22.4	48
5 中小企業活性化資金特別会計	222	1,111	1,053	58	5.5	117	113	4	3.3	994
6 就農支援資金特別会計	17	45	70	△ 25	△ 36.2	17	40	△ 23	△ 57.0	27
7 沿岸漁業改善資金特別会計	71	244	211	34	15.9	0	0	△ 0	△ 49.8	244
8 林業振興・有峰森林特別会計	281	448	426	22	5.1	252	225	27	12.2	196
9 奨学資金特別会計	164	1,037	958	79	8.3	56	62	△ 6	△ 10.3	981
10 公共用地先行取得事業特別会計	952	1,031	1,162	△ 131	△ 11.3	828	730	98	13.4	203
11 「元富山県営水力電気並鉄道事業」資金特別会計	1	6,859	6,599	261	3.9	0	0	0	0.0	6,859
12 国民健康保険特別会計	86,352	90,379	86,334	4,045	4.7	84,783	80,752	4,032	5.0	5,596
13 港湾施設特別会計	1,718	1,678	1,632	46	2.8	1,538	1,471	67	4.5	140
14 工業用地等管理特別会計	83	2,160	2,080	80	3.8	65	65	△ 1	△ 0.9	2,096
合 計	246,538	261,408	261,355	53	0.0	243,719	243,968	△ 250	△ 0.1	17,689